



2018年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社農業総合研究所
代表者名 代表取締役社長 及川 智正
(コード番号：3541 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 松尾 義清
(TEL. 03-6417-1047)

**東京加工センター開設に関するお知らせ
～加工センター開設により流通総額拡大を加速～**

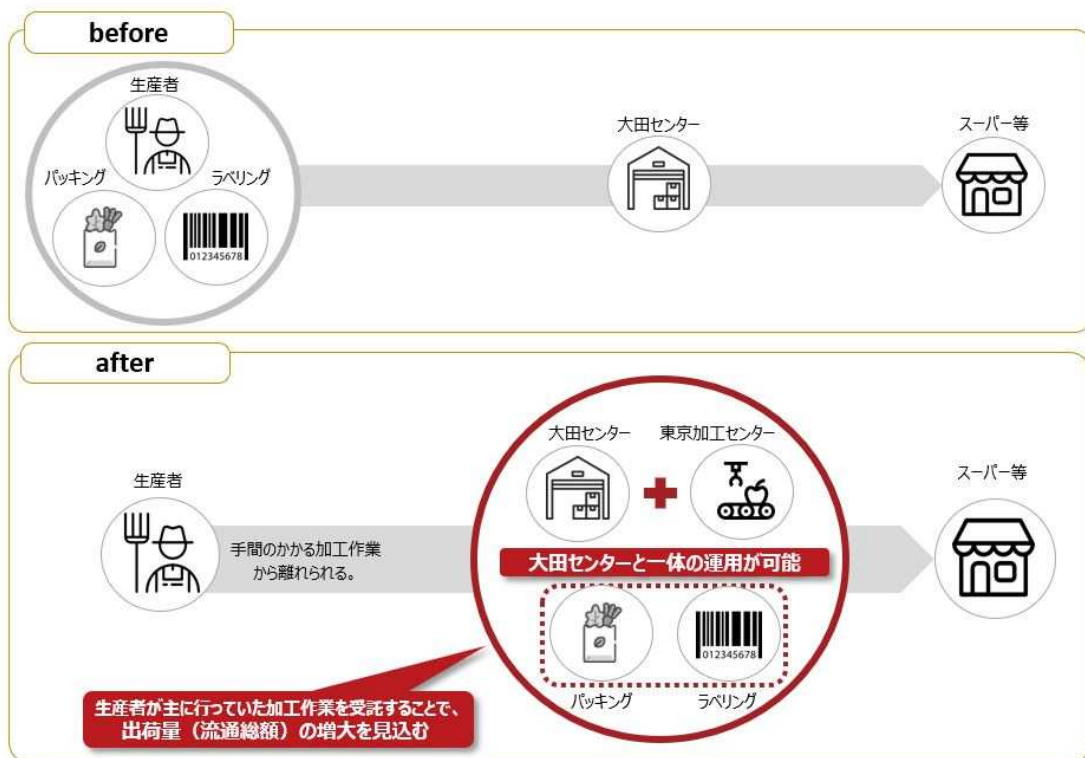
当社は、2018年11月5日より、当社の大田センター近くに『東京加工センター（以下、「加工センター」）』を開設いたしましたのでお知らせいたします。

1. 経緯と目的

当社の委託販売プラットフォームでは、商品のパッキング（袋詰め）やバーコードシール貼付等（以下、「加工作業」）を生産者に行っていただいております。生産者による加工作業は、出荷量の増加に伴い作業負担も大きくなるため、特に中・大規模生産者の加工作業の外注ニーズは高くなっております。当社が加工作業を受託することで、中・大規模生産者の出荷が増加し、流通総額のさらなる増加が見込めるものの、既存集荷場での加工作業の受託は、作業スペースと人的な制限があり限定的でありました。また、一部の加工作業を外部業者へ委託しておりましたが、コストの問題や納品時間の制限があり、拡大が難しい状況にありました。

これらの課題を解決するため、2018年11月5日より、当社の大田センター近くに加工センターを開設いたしました。大田センターと加工センターを一体運営し、生産者が行っている加工作業を受託することにより、中・大規模生産者からの集荷拡大を狙い、物量の増加と安定化、調達の効率化、取引先（店舗）の拡大を図ってまいります。また、外部委託している加工業務を内製化することにより、コスト削減と増大する物量に耐えうる体制構築、流通総額の拡大につなげてまいります。

今後もスーパーマーケットを中心とした小売店での展開を軸としつつ、流通総額のさらなる拡大と成長スピードを加速していくため、外食産業や消費者向け流通等、新規事業への応用も見据え、物流インフラを積極的に整備・拡充してまいります。



2. センターの概要

- ・ 開設場所：日水物流(株) 東京物流センター内（東京都大田区東海 6-1-2）
- ・ 取扱規模（加工数量）：日量 10,000～15,000 パック

3. 今後の見通し

本件による 2019 年 8 月期及びその後についての業績に与える影響につきましては、現時点では軽微なものと見込んでおります。

以 上